

### ウイルス感染症



## イボ

### 重要ポイント

- イボは皮膚のウイルス感染症
- イボの三分の二はなんら治療をしなくても二年以内に痕跡を残さず消える
- 治療法としては、塗り薬などの痕が残らない方法が望ましい

### 症状

イボは子供によく見られるウイルス感染症です。乳幼児期にはまれですが、子供が大きくなるにつれてひんぱんに起こるようになります。

皮膚が堅く隆起して変色し、表面がざらざらでかさぶた状になります。大きさや数はまちまちで、皮膚が傷ついたところに新たなイボができます。体中どこにでもできますが、子供の場合手やひざによく見られます。足の裏にできるイボは **plantar wart** とも呼ばれます。手の甲や顔に平坦な肌色の斑点状のイボができることもあります。

### 感染経路

イボを起こすウイルスは皮膚の表面、特に傷口から侵入します。他の人のイボに直接接触すると（傷がある場合は特に）感染します。間接的な接触でうつることもあります。プールやシャワールームなどの湿った所にこのウイルスが生息していることがよくあり、そこをはだしで歩いて感染することもあります。爪を噛む癖のある子供の爪の周囲や、指しゃぶりをする子供の唇の周りにできることもあります。

### 予防法

お風呂は使用後よく掃除し、タオルを共用せず、水泳やシャワーの前には足のイボを覆うようにすればイボをうつすのを防ぐ助けになります。イボをばんそうこうで覆っておけば、噛んだりいじったりするのを防げます。

### 治療法

イボの三分の二以上はなんら治療をしなくても二年以内に痕跡を残さず消えるので、いちいち治療する必要はないかも知れません。

市販されているイボ取りの塗り薬は、とりあえずの手段として有効です。一つのイボを取るために、数ヶ月間定期的に塗り続ける必要があります。塗る前に熱いお湯に浸したり、表面の死んだ皮膚を除去すると薬がイボの中に入りやすくなります。

イボが痛んだり、心配になった場合には、医師が液体窒素冷凍法を含む治療を行う場合があります。しかし、この治療法は痛いので、小さな子供には向

## Japanese - Warts

かないかもしれません。焼却法や切除法は子供にはあまり用いられず、長期的な痕跡を残すことがあります。

より詳しい情報の入手先：

母子健康看護師

薬剤師

かかりつけの医師

皮膚科専門医

© 2002, Department of Dermatology, St. Vincent's Hospital Melbourne, Victoria Parade, Fitzroy, Victoria 3065 Australia.